

11月9日午後、カレッジの学習室3,4にて、グループわ主催で、特別支援講演会が開かれました。カレッジの田阪リーダ、現役生も含む22人が参加しました。

講師は神戸市教育委員会 特別支援教育課の指導主事 後藤田和成様で、「これからの特別支援教育」についてと題して、判り易く、熱弁を振るわれて講演をしていただきました。

講演後、質疑応答が行われて、これからの支援に生かしていける有意義な講演会でした。

学習支援委員会の堺 汎委員長の挨拶でスタート。



後藤田和成 指導主事。



「これからの特別支援教育」と題してパワーポイントを使用して講演され、学校現場での経験を活かした講演でした。

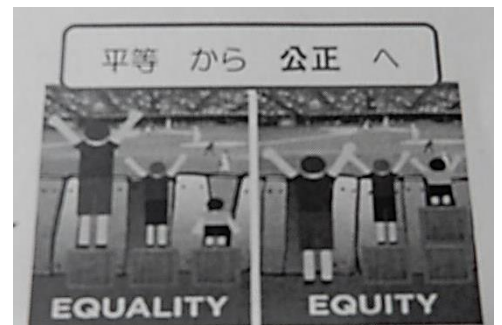
基本的な考え方として、真の共生社会の実現に向けて、平等から公正へと！ 個別配慮の重要性について。



発達障害について理解できていると子供たちに優しくなれるし、行き過ぎた指導をしなくなる。

発達障害（自閉症やアスペルーズ症候群などの広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害など）について、詳しい説明がありました。

「困った子から困っている子へ」と視点を変えること、また出来ないことを叱るのではなく「出来たことをほめること」、そして「暖かく見守ること」が大事！



同じように見えるように支援



講演の後、時間一杯質疑応答が行われました。

現役生も含む4名の参加者より、実際に特別支援をしている現場で困っていることなどについて活発な質問が出され、具体的な対応策などを聞くことが出来ました。

(写真 永野知己 編集 岡本紘一)